



[2019年5月30日発行 会報第974号]

今週のプログラム

(2019年5月30日 第974回例会)

卓話「真言密教を思う」

担当 黒川 彰夫会員

次週のプログラム

(2019年6月6日 第975回例会)

卓話「明治の夜明け」

担当 西本 明文会員

[第973回例会 (2019年5月23日) の記録]

<会長の時間>

藤田 芳浩会長

こんばんは、お元気ですか！本日は、米山記念奨学生タン フェイ ウェイ エリカさんにイニシエーション・スピーチをお願いしております。日本とのご縁も深いとお聞きしておりますので、興味深く楽しいお話になると思います。カウンセラーの山本 友亮会員どうぞ宜しくお願い致します。さて、「ファイヤーサイドミーティング」で意見交換をいただきました例会場の件でございますが、途中経過のご報告をさせていただきます。まず、千里阪急ホテルにつきましては、想定される会場（丸テーブルが4卓入る会場）は、第2第4木曜日の夕刻は、ライオンズクラブの2クラブが例会を開催されています。また、第1第3も定例宴会や講演会の予約がかなり入っていると事です。この会場以外ですと広さは約3分の1程度になり丸テーブルが2卓程度との事です。従いまして、現状と同じ曜日、同じ時間の開催は現在受けられないとの回答でした。次に、事務局 近藤様ご紹介の箕面駅から徒歩2~3分のレストランは、水島幹事・事務局 近藤様と打ち合わせに訪問しました。レストランのオーナーは非常に協力的でして、隣接する1ルームアパートも事務局に使用できるとの事でした。阪急箕面駅には、千里中央駅からバスで約25分片道220円、モノレールで蛍池駅から阪急石橋駅2回乗換で25~30分位片道480円の様です。近くにはコインパーキングは結構あります。そして、昨日水島幹事・山本 友亮会員と江坂のレストラン「ル・ジャルダン」に行ってきた。中国料理の「翠園」でご存知の方も多と思います。支配人にお聞きしますと周辺のロータリークラブが、かなり移動例会等で使っておられます。例会に使用するメールボックス等の備品も保管して会場設定もやりますとの事です。駐車場は当日無料ですが、翌日以降は1日700円程度かかります。以上が現状ご報告出来る事の概略となります。今後出来ましたらレストランで移動例会を開催してみたいと考えております。最後に皆様にお許しを頂きたく申し上げますが、次週は勝手ながら姉妹クラブ「福島21ロータリークラブ」にメイクアップ訪問いたします。今回もSkypeを使つての会長挨拶となりますが、宜しくお願い致します。尚、本日「福島21ロータリークラブ」は、竹之下教授の福島医大に高校生を招待し職場訪問例会のようです。

<お客様>

タン フィ ウェイ エリカ様 (2019 学年度 米山奨学生)

<出席報告>

西本 明文出席担当

会員数(内出席免除会員 1 名) 20 名

本日の出席者数(内免除会員 0 名) 15 名

本日の出席率(内免除会員 0 名) 78.95%

前々回(5 月 9 日)修正出席率 84.21%

<ロータリーソング>

全会員

♪おお牧場はみどり♪

<本日の演奏曲>

近藤 美里さん

1. Smile
2. My One And Only Love
3. 涙そうそう

<幹事報告>

水島 洋幹事

1. 青少年交換プログラム 2019-20 年度学生募集の案内が届きましたので、各会員のメールボックスに配布いたしました。  
ホストファミリー・バンク登録へのお誘いと合わせて回覧致します。
2. 吹田西 RC 会報にシンプルな My Rotary への登録手順が記載されていまして、未登録の方は参考になさってください。

<委員会報告>

木下健治会長エレクト

規定審議会報告会で、メイクアップが現在は前後 14 日のところ、その年の事業年度末まで行える事にする、となりました。最終的に 7 月に入って地区から連絡があるのでそれに従ってクラブの理事会にてお諮り下さい、との事です。

<SAA 報告>

松田親男副 SAA

\*スマイルボックス

黒川会員 夏風邪に注意！  
西本詩子会員 お蔭様で楽に歩けるようになりました。  
コメントなし 山下会員・西本明文会員

\*ロータリー財団

藤田会長 明日は今年度次年度の会長・幹事会です。  
黒川会員 暑いですね！  
コメントなし 山下会員・山田会員

\*米山記念奨学会

藤田会長 エリカさん今日はよろしくお願ひします。  
黒川会員 エリカさんようこそ。  
木下健治会員 エリカさん、今日はよろしく。  
山本友亮会員 エリカさんようこそ。本日よろしく。  
コメントなし 山下会員・山本雅之会員

\*ラオス基金

黒川会員 ラオスに行こう！！  
柳原会員 久しぶりに釣りに行きます。  
コメントなし 相原会員・山下会員

\*メイプル基金

藤田会長 すみません、次週福島21RCさんに行ってきます。  
黒川会員 あと少し、藤田会長。  
松田会員 エリカさん、自己紹介よろしく。  
水島会員 エリカさん、今日はよろしくお願ひします。  
西本明文会員 春の快晴です。  
柳原会員 今年度も、もうすぐ終わりです。  
西本詩子会員 緑の美しい五月です。  
コメントなし 山下会員

<イニシエーション・スピーチ>

タン フィ ウェイ エリカ様

皆様、こんばんは。米山奨学生としてこの千里メイプルロータリークラブにお世話になっておりますエリカ・タン・フィ・ウエンと申します。本日、自己紹介をさせていただきます。少し長くなりますが、まず出身国と家族を紹介させていただきたいと思ひます。

私はマレーシア人と日本人のハーフです。父はマレーシアの中国系で、母は日本人です。両親は1992年に日本で知り合つて、一年後日本で結婚しました。私は2000年6月15日に大阪で生まれました。生まれてから二年ぐらい日本に住んでいました。その二年間は日本の保育園に通っていました。その頃の私は元気すぎて先生たちを困らせたそうです。そして、二歳の時に父の仕事のために家族でマレーシアに移住しました。それから16年間両親とマレーシアで暮らしていました。私はマレーシアの首都クアラルンプールから約200キロメートル北にあるイポーという都市に住んでいました。マレーシアで特に食べ物が美味しく有名なところです。マレーシアは多民族国家で、

三大民族であるマレー人、中国人、インド人と少数民族で成り立っている国です。私は小さいころからいろんな民族や言葉や文化に日常的に触れて生活をしていました。始め、国語であるマレー語、英語と中国語を習い始めました。幼稚園の授業以外に、日本語の補習校にも行きました。その頃の私は日本語もマレーシアの言語の一つであると思い込んでいました。そして、なぜ周りの友達日本語を話さないのだろうと不思議に思っていました。そしてやっと自分がハーフだということがわかってきました。

しかし、心の中は嫌な思いがいっぱいで、自分は周りの人たちとは違う変な人だと思いました。それに、私にとって三つの言語を習うのは大変で、さらに日本語も習わなければならないと思うと気が重くなり、だんだん日本語を話すのが嫌になりました。それから、私は日本語を話さなくなりました。母が日本語で話していることは大体聞き取れますが、母がどんなに日本語で話しかけても、私は必ず英語で返事していました。父とは中国語で話します。そして日本語の補習校も一年ほど通っただけで行くのをやめました。こんな状態が何年間も続きました。しかし、問題を感じるようになってきました。私と母も、英語が第一言語ではないので、時々大事な事を相談したいときに、コミュニケーションがうまく取れなくて、母を悩ましてしまい、日本語の勉強を続けなかったことを後悔しました。日本語をすらすらと話せたらどんなにいいだろうとつくづく感じました。それから日本語をちょっとずつ話すようになりました。実は日本語を再び話すようになったのはもう一つの理由もありました。それはある日に母と一緒にマレーシアにある日本人会の行事に参加した時のことでした。私と同じようなハーフの子供が何人もいました。彼らは全員親とすらすらと日本語で話していて、親子の雰囲気がとてもよかったです。私だけが日本語を話せませんでした。一人の日本人が私にこう言いました。「どうしてお母さんと日本語で話さないの、日本語で話したらお母さんも喜ぶよ。」その話を聞いて、自分に情けなさを感じると同時に、とても恥ずかしく思いました。母にも申し訳ないきもちでいっぱいでした。母は外国で日本語の話し相手がいなくてどんなに寂しかったでしょう。私は日本語をきちんと勉強して、すらすらと話したいと強く思いました。日本に留学したいとその時思いました。

話が戻りますが、小学校は地元の小学校に入学しました。中国語の小学校で、学生はほとんど中国人でした。私にとって、一番楽しかったのは小学校の時でした。悩むこともあまりなくて、友達とも楽しく遊べた時期でした。12歳に小学校を卒業し、13歳の時に私は家からちょっと離れた私立の中学校に入学しました。毎日40分もかけて学校に通いました。ポイラムという名前で、国際的な学校です。国立の学校はマレー語で授業を教えますが、この学校での授業は全部英語で行います。マレーシアの教育制度は日本と違って中学校三年と高校二年間は同じ学校で五年間勉強します。私は高校生生の時に理科系を選び、二年間勉強しました。高校になってからは試験も多くなり、ストレスがいっぱいたまっていきました。でも楽しいこともたくさんありました。私の学校にはマレーシア人だけでなく、ほかの国のタイやベトナムや中国からの学生も大勢いました。いろんな国の人と知り合って、お互いの国の文化や言語を学び、とても楽しかったです。こうした環境の中、高校を卒業してから日本に留学したいとますます強く思うようになりました。

2017年11月に高校を卒業し、両親と相談して、日本に留学することを決めました。翌年の9月に来日し、10月に大阪日本語教育センターに入学しました。私の父も若いころ同じ日本語学校で勉強しました。そして卒業して立命館大学に入学し、卒業後しばらく日本の会社で働きました。私も父と同じ道を歩み、この日本語学校を選び入学することができました。

最初はとても不安でしたが、クラスの人たちと友達になり、だんだんこの留学生活に慣れてきました。この学校を通じて、いろんな交流会に参加して日本の文化を理解し、世界各国からの人と知り合っ、留学して本当に良かったと思います。今は日本語以外、基礎科目である英語、数学、生物と科学を勉強しています。大学受験が近づくにしたがって、勉強も難しくなり、だんだん忙しくなってきました。来日してもう半年になりますが、とても充実な半年を過ごせたと思います。留学する前の私は自信がなくて、勇気のない人でした。でも日本に来てから積極的にいろんなことに挑戦しました。今皆様の前でスピーチをしていることも以前の私では全然想像できなかったことです。これ以外では、初めてアルバイトに応募したことも私にとって大きな挑戦でした。今は一週間に三日、日本橋にある台湾レストランでアルバイトをしています。日本語の会話の勉強にもなるし、いい人生経験にもなると思います。

私の日本に対しての印象は、食べ物がおいしくて、道がきれいで、時間を厳守し、マナーがいいことです。私が一番好きな日本の食べ物はというと、お寿司とかたこ焼きとかじゃなくて、パンです。私の顔を見ればわかります。日本に来てからいっぱいパンを食べて、だんだん丸くなってきて、まるでパンみたいな顔です。メロンパンは最高です。後日本は交通がとても便利だと思います。私のマレーシアのホームタウンには、市内の移動に電車はなく、バスも不便で出かけるたびに車を使います。またマレーシアは治安があまりよくないので、すぐ近くに行くのでも車です。日本ではどこに行くのも電車やバスで行けるので、とても助かります。日本人のマナーの良さと、時間厳守は世界中に知られていますが、私も実際に暮らして改めて実感しています。電車やバスは決まった時間に来るし、日本人はどんなに長い列があっても割り込まずにきちんと並んで待っています。前にマレーシアで、ある日本のニュースが出てきて、マレーシアの人々は日本人に対して尊敬の念でいっぱいでした。それは日本人が海外でサッカーの試合の後に、持参したビニール袋に、ごみを集めていたニュースでした。私はこれを見て、日本人は素晴らしい民族だと思いました。中国の友達は日本で財布を落としましたが、誰かが交番に届けてくれていたそうです。マレーシアでは財布を落としたらほぼ 100%見つかることはないです。私の日本で一番好きなところはやはり日本人のこういった行動です。

日本に来てから、私にとって一番難しかったのは日本のリズムについていくことでした。なぜかと言うと、マレーシアは日本人と違って、人々のはのんびり暮らしていて、リラックスして生活しています。日本と違って歩くのはゆっくりだし、服装とかも適当です。日本に来てから日本人は全員歩くのがとても速いので、私も負けないように速く歩きましたが、とても疲れました。私は今祖母の家に住んでいます。私は小さい時から祖母に会うため何度も両親と何度も日本にきました。来るたびに祖母の家に泊まりました。そして、止まるたびに日本の家は狭いと思いました。家の中で遊べる場所はほとんどないと思います。マレーシアでの家ではたいてい庭が広く、子供たちが家の中でも走り回って遊ぶことができるのはとてもいいと思います。留学してから、去年初めて冬を日本で過ごせました。日本に来る前は、私はとても冬に憧れていて、雪で遊べるとしていました。でも実際に冬を体験してみたら、寒さがとても辛かったです。一年中暑い国から来た私は、冬になったらどんなに幸せでしょうと考えていました。でも、寒さを体験してからは、冬が嫌いになりました。大阪はあまり雪が降らないので、雪が降るのをほとんど見ることはできませんでした。毎日寒くて、何枚服を着ても寒くて、お風呂に入りたくないし、朝起きるのも辛かったです。こんな時

は本当にマレーシアに帰りたかったです。

最近も勉強が難しくなってきた、進学のことにも悩まされていて、こんなことから逃げたくて、マレーシアに帰りたと思うことも少なくありません。でも、私にとって、人生はいろんなことに挑戦して生きることです。何の挑戦もない人生はとてもつまらないと思います。留学も私の人生の挑戦の一つです。日本で留学するのは簡単なことではありません。日本語をしっかりと勉強する以外に、科学とか数学も日本語を使っても力をつけなければなりません。私は日本語学校を卒業したら、大学に進学して、生物学を勉強したいと思います。私は生物の生体構造学や細胞生物学に興味を持っていますので、これらについて学びたいです。そして、私は動物が大好きです。小さいころから動物園に行くのをとても楽しみにしていました。日本に来てからももう二回も動物園に行きました。いろんな動物を見るのは面白いです。動物園に行くたびに、ここに生活している動物は定時に餌をもらって、いい看護を受けているが、外で生活している動物はどうだろうと思います。最近動物の角や皮などをとるために動物を殺す事件が少なくありません。こんなニュースを見るたびに心が痛みます。私はこんな動物を助けたいです。特に絶滅危機がある動物を助けたいです。このような動物の絶滅原因を研究したり保護対策を考えたりしたいです。少なくとも絶滅動物の数を減らしていきたいです。それを目標にして、大学に合格しているよう、私は諦めずに頑張っていきます。

この度、米山奨学生として、このクラブの一員に選んでいただき誠にありがとうございます。このクラブの一員になることができ本当に嬉しいです。私のカウンセラーの山本様と会長である木下様には特に大変お世話になっています。これからこのクラブの例会に積極的に出席し、皆様の期待に応えて一生懸命勉強し、このクラブの活動にも力を入れて、積極的に参加させていただきたいです。どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。



《編集後記・チョット一言》

今回の会報は少々長くなりましたが、エリカさんから送っていただいた原稿をそのまま掲載させていただきました。私自身、とても感動を覚えたスピーチでしたので……。

これからも皆様、よろしく願いいたします。

西本詩子会員、復帰おめでとうございます！！ 大変うれしいです。

あとは高尾会員の復帰を、お待ちしております！！

(文責 山本 友亮)